

Partial English Translation of Japanese Office Action dated February 7,
2006 issued against Japanese Patent Application No. 2001-355756

Description

- Claim(s): 1, 2
- Cited reference(s): 1 to 4
- Remarks:

There is described in the references 1 to 4, the polarized wave fiber with ribbon comprising a plurality of the polarized wave fibers and having a ribbon portion with the predetermined length.

- Claim(s): 3
- Cited reference(s): 1 to 5
- Remarks:

There is described in the reference 5, the polarization-maintaining optical fiber having a convex stripe shaped positioning means.

- Claim(s): 4 to 6
- Cited Reference(s): 1 to 6
- Remarks:

There is described in the reference 6, the optical cable having the concave stripe for casing optical fiber.

- Claim(s): 7 to 9
- Cited reference(s): 1, 7 and 8
- Remarks:

The invention in question can be easily suggested by converting the producing method of the optical fiber array described in the references 7 and 8 to the polarization-maintaining optical fiber described in the reference 1.

- Claim(s): 10 to 12
- Cited reference(s): 1, 7, 8 and 9
- Remarks:

There is described in the reference 9, the producing method of the tape core wire using the adhesive comprising of a urethane acrylate resin.

- Claim(s): 13
- Cited reference(s): 10, 11
- Remarks:

The invention in question can be easily suggested by converting the jig for producing the optical fiber array described in the references 10 and 11 to the jig for forming a ribbon of the polarization-maintaining optical fiber.

- Claim(s): 14
- Cited reference(s): 1 to 4 and 12
- Remarks:

There is described in the references 4 and 12, the polarized wave optical fiber array.

Reference(s) Cited

1. JP-A-62-134608
2. JP-A-01-112210
3. JP-U-57-164707
4. JP-A-60-254008
5. JP-A-04-110806
6. JP-U-60-060711
7. JP-A-06-222246
8. JP-A-05-303027
9. JP-A-05-221694
10. JP-A-01-300207
11. JP-A-58-137807
12. JP-A-02-244108

3/13/2006
ネット

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2 0 0 1 - 3 5 5 7 5 6
起案日	平成 1 8 年 2 月 2 日
特許庁審査官	吉田 英一 9 1 2 4 2 X 0 0
特許出願人代理人	渡邊 一平 様
適用条文	第 2 9 条第 2 項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 6 0 日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・ 請求項 1、2
- ・ 引用文献 1 ～ 4
- ・ 備考

引用文献 1 ～ 4 には、複数の偏波ファイバ素線からなり所定長のリボン部を有するリボン付偏波ファイバが記載されている。

- ・ 請求項 3
- ・ 引用文献 1 ～ 5
- ・ 備考

引用文献 5 には、凸条の位置決め手段を有する偏波面保存光ファイバが記載されている。

- ・ 請求項 4 ～ 6
- ・ 引用文献 1 ～ 6
- ・ 備考

引用文献 6 には、光ファイバ収容凹条を有する光ケーブルが記載されている。

- ・ 請求項 7 ～ 9

・引用文献 1、7、8

・備考

引用文献 1 に記載の偏波面保存光ファイバに、引用文献 7、8 に記載の光ファイバレイの製造方法を転用することにより容易に想到し得る。

・請求項 10～12

・引用文献 1、7、8、9

・備考

引用文献 9 には、ウレタンアクリレート樹脂からなる接着剤を用いたテープ心線の製造方法が記載されている。

・請求項 13

・引用文献 10、11

・備考

引用文献 10、11 に記載の光ファイバレイを製造するための治具を、偏波面保存光ファイバのリボン化用治具に転用することにより容易に想到し得る。

・請求項 14

・引用文献 1～4、12

・備考

引用文献 4、12 には、偏波光ファイバレイが記載されている。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第一部光デバイス 審査官 吉田 英一

TEL. 03(3581)1101 内線3253

FAX. 03(3580)6903

引用文献等一覧

1. 特開昭62-134608号公報

2. 特開平01-112210号公報

3. 実願昭56-050961号（実開昭57-164707号）のマイクロフィルム

4. 特開昭60-254008号公報

✓ 5. 特開平04-110806号公報

6. 実願昭58-151945号（実開昭60-060711号）のマイクロフィルム

✓ 7. 特開平06-222246号公報

✓ 8. 特開平05-303027号公報

12. 特開平02-244108号公報

先行技術文献調査結果の記録

- G 0 2 B 6 / 3 0 - 6 / 4 2

- ・先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。